

**02.28**  
S  
A  
T  
**2026 Early Spring**



## 24thまちfes葉山 ラウンドテーブルvol.2『地域フェスティバルを考える』

### 【開催趣旨】

24回目の開催を迎える「まちfes葉山」は、2001年「ふれあいまちづくり展」としてスタートしました。スタート当初は、登録団体(※1)による実行委員会と当協会の共催で「葉山まちづくり展」を開催していましたが、2020年から実行委員会形式はとらず、当協会が主催として名称も新たに「まちfes葉山」として開催しています。しかし、参加者の減少や固定化、担い手不足といった大きな課題を抱えています。当協会は、下記の開催目的のもと、葉山のまちづくり活動を盛り上げ、また次の世代につないでより豊かな葉山を築いていくために、「まちfes葉山」を今後も継続的に開催していかないといけないと思っています。

皆が楽しみながら参加し、葉山のまちづくりを盛り上げるような地域フェスティバルに育てる  
いくためにはどうしたらしいのか？

このラウンドテーブル(※2)で、新たな「まちfes葉山」を皆さんと一緒に考えて、作り上げていきたいと思っています。

※1登録団体とは…葉山まちづくり協会に、まちづくり活動団体として登録されている団体のこと、現在52団体の登録があります。

※2ラウンドテーブルとは…参加者が役職や立場に関係なく平等な立場で自由に意見交換を行う会議形式のことです。

### <まちfes葉山の開催目的>

- ①登録団体の活動発表の場
- ②登録団体の交流の場
- ③次なる登録団体や担い手発掘、ネットワーキングの場

### 【開催概要】

■日 時: 2026年2月28日(土) 10:00~12:30(終了予定)

■場 所: 葉山町立福祉文化会館 大会議室

■内 容: 第一部 地域フェスティバル モデルケース紹介

第二部 ラウンドテーブル「来年のまちfes葉山の企画書をつくろう！」

第三部 企画書発表・自由交流

## 【内 容】

### ■第一部：モデルケース紹介

まちfes葉山の変遷と振り返りをご紹介しつつ、地域フェスティバルのモデルケースとして、3つの団体をお招きして、フェスティバル運営の仕組みづくりなどについてお話しいただきます。

10:00～10:10

イントロダクション：『まちfes葉山の変遷と振り返り』(葉山まちづくり協会・理事より)

10:10～10:30

#### ①『“今なら、自分なら”から始めるフェス』

横浜市の創造都市政策の中で生まれた、クリエイター・アーティストと地域を繋ぐ関内外OPEN！などの地域フェスを手がけた杉崎栄介氏をお招きし、地域フェスの仕組みづくりなどについて伺います。

登壇者：杉崎栄介氏（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・横浜市民ギャラリーあざみ野館長）

10:30～10:50

#### ②『葉山芸術祭』

今年で開催34回目を迎える、実行委員会が自主運営する地域芸術祭。長年の開催実績を踏まえて、どのような仕組みづくりをしてきたのか、今の課題や取組みについて伺います。

登壇者：兼子朋也氏（葉山芸術祭実行委員会）

　　松澤利親氏（葉山芸術祭調査研究プロジェクト）

10:50～11:05

#### ③『(未定)』

11:10～11:30

### Q & A

参加者の皆さん、登壇者同士、さまざまな方にご質問・ご発言いただける場です。

11:30～12:00

### ■第二部：ラウンドテーブル

第一部を受けて、参加者の皆さんには各グループに分かれてグループワークを行っていただきます。

・テーマ：「来年のまちfes葉山の企画書をつくろう！」

・モレーター：坂野 嵩真氏（株式会社 MUTANT代表）

　　藤井 聖氏（葉山まちづくり協会事務局）

12:00～12:30

### ■第三部：企画発表・自由交流

第二部の企画書を発表し、第一部の登壇者や参加者相互で質問や感想など自由にお話していただく場です。

## 【補 足】

・第二部、第三部は、希望者参加制ですので、聞くだけ・見るだけの参加もできます。

・第一部モデルケース紹介については、一部内容が変更になる可能性があります。

内容は、随時更新してまいります！

皆さまのご参加お待ちしています！！